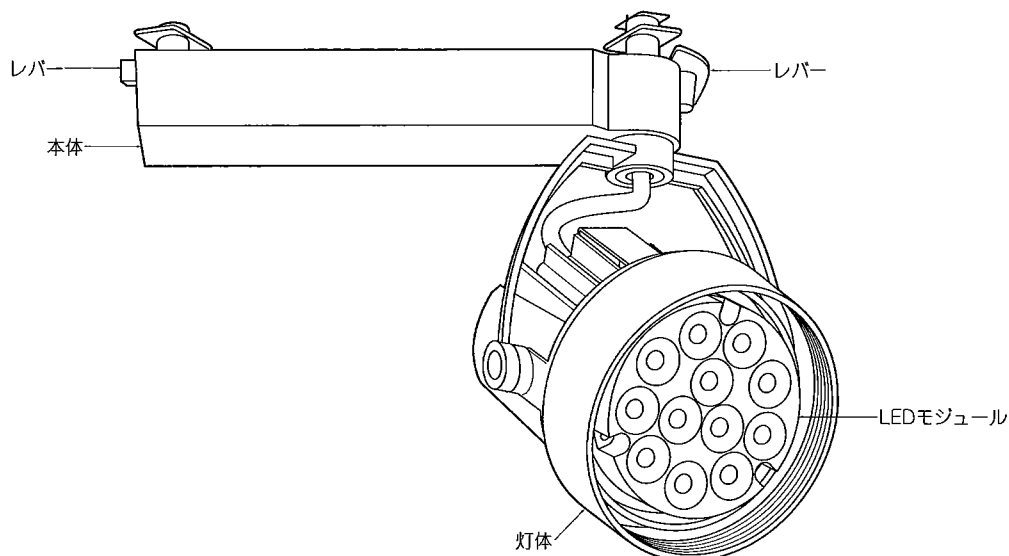


◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	近接照射限度	定格電圧	周波数	入力電流	消費電力
Rs12	ERS3895B/W	生鮮タイプ	中角	0.5m	AC100V	50Hz/60Hz	225mA	22.4W
	ERS3896B/W	生鮮ナチュラルタイプ						
	ERS3897B/W	高演色タイプ(3000K)						

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆適合LEDモジュール

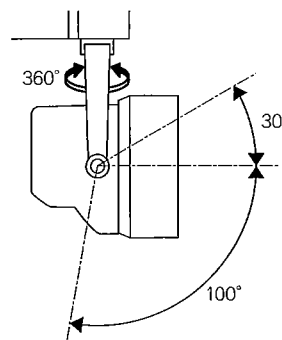
区分	型番	ランプ色	配光
Rs12	RM12THMR2-80NHP1	生鮮タイプ	中角
	RM12THMR1-80NHP1	生鮮ナチュラルタイプ	
	RM12EH30M-80NHP1	高演色タイプ(3000K)	

⚠ LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆可動範囲



⚠ 指定範囲以外可動させないでください。破損・落下・感電の原因となります。

■清掃方法について ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

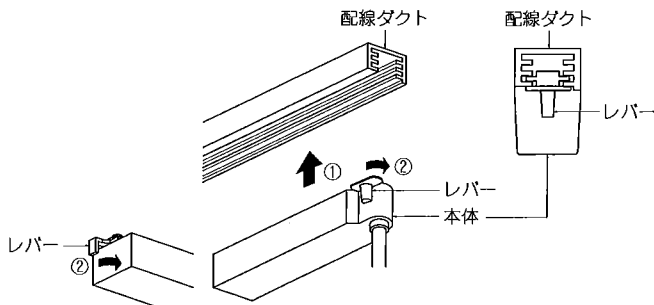
2. 器具重量に耐える様、ダクトレールの取付状態を確認してください。

⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

3. 本体を配線ダクトに取付けてください。

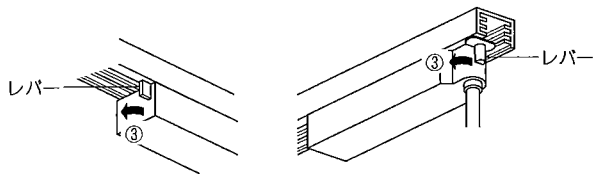
取付方法

- ① 本体のレバー2本を左に回してから、ダクトに押し込みます。
- ② レバー2本を右に回します。



取はずし方法

- ③ レバー2本を左に回して本体をはずしてください。



⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

4. 灯体を調整し、照射位置を合わせてください。

⚠ 点灯中は灯体が高温になりますので十分にご注意ください。やけどの原因となります。

◆LEDモジュールの交換方法

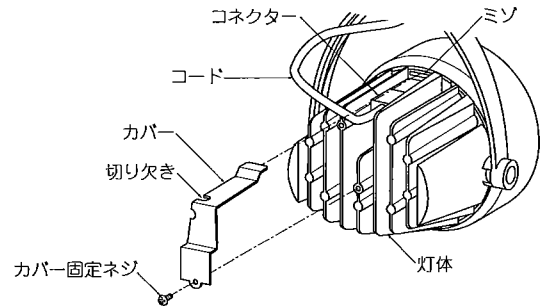
1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

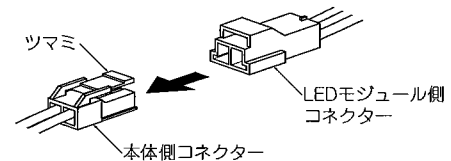
⚠ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は高温になりますので、LEDモジュール交換はしないでください。やけどの原因になります。

2. 取付方法3を参照して本体を配線ダクトから取りはずしてください。

3. カバー固定ネジをゆるめて、カバーを灯体から取りはずしてください。

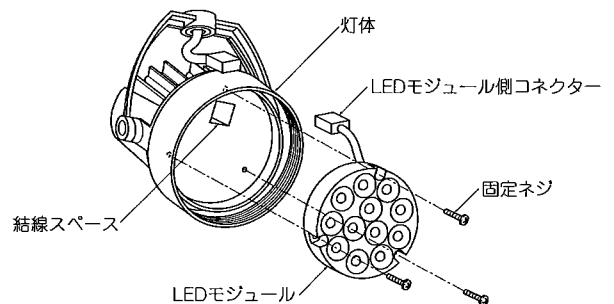


4. ツマミを押しながら本体側コネクタをLEDモジュール側コネクタから引き抜いてください。



⚠ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

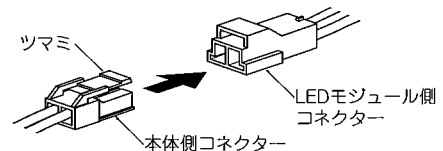
5. 固定ネジ(3本)をゆるめて、LEDモジュールを灯体から取りはずし、LEDモジュール側コネクタを結線スペースから引き抜いてください。



6. LEDモジュール側コネクタを灯体内部の結線スペースに収納し、LEDモジュールを灯体に合わせて、固定ネジ(3本)でコードを挟まないよう十分注意して確実に取付けてください。

⚠ 取付けが不十分な場合、LEDモジュール落下の原因となります。

7. 新しいLEDモジュール側コネクタに本体側コネクタを確実に差し込み接続してください。



⚠ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

8. コードをカバーの切り欠きに合わせてから、カバーを灯体のミソに差し込み、カバー固定ネジで取付けてください。

9. 取付方法3を参照して本体を配線ダクトに取付けてください。